

こんにちは！戸田の会です。

— 戸田市議会会派「戸田の会」政策レポート第1号 —



左から、戸田市議会議員

酒井郁郎 (38歳)

金野桃子 (30歳)

中山祐介 (27歳)

真木大輔 (31歳)

私たちは、2013年1月の選挙後、「必要な政策を実現する」「皆さんの声を市政に反映する」「公平な市政を実現する」という同じ志を持つ市議会議員4人で会派を結成し、活動しています。本市は来年3月に市長選挙を控えています。私たちはいま、あらためて「未来の戸田のために何をすべきか」を考え、皆さんから頂いたご意見を大いに反映した「重点政策」をまとめました。この「重点政策」に完成はありません。これをスタート地点として、政策について活発な議論を起こし、本市が抱える課題に取り組んでまいります。これからも皆さんと一緒に考え、より良い戸田を作ってまいります。

戸田の会活動報告

新会派が発足 「戸田の会」
戸田市議会は6日、1月の市議会議員選挙を受けて初の会議を開いた。会派の結成届けにより従来の4会派に加え、新しい会派「戸田の会」(4人)が発足した。
同会の酒井郁郎団長は「既存の政治が市民を向いていない、市民の声を反映しなければという思いを共にする4人が協力していくことで一致した」と語った。
他の会派は志政クラブ(7人)、平成会(6人)、公明党(6人)、共産党(4人)。(岸鉄夫)



3月議会においては、神保市長の施政方針に対する総括質問を実施。

「参院選に関心持って」
埼玉県戸田市議会の無所属議員3人が16日、参院選000枚のチラシを作り、JR戸田公園駅などで毎夕チラシを配布する。同市の投票率は平均を大きく下回る。酒井郁郎が重要「代表の酒井郁郎市議」と話している。
活動を始めたのは議会の若手4人で構成する会派のうち、政党所属議員を除く3人。前回参院選の投票率は51.9%と全国平均を6.0ポイント下回った。チラシには過去の投票率をグラフにして「全国平均より低い！」などと記載、期日前投票の方法も解説している。
酒井市議は過去の埼玉県議選で投票を呼び掛けるチラシを個人で配布、「投票率が10%以上アップした地域もあった」という。ネット選挙が話題となるが「アナログでもチラシ配布は効果的。帰宅途中の人に協力してもらえれば」と期待する。

投票率向上へ呼び掛け
会派の活動が紹介されました。(日経新聞・13年7月17日朝刊)



メンバー全員で市長室を訪問。「重点政策」の内容を、神保市長に要望しました。(13年10月)



「重点政策」作成では、皆様のご意見を頂きました。駅頭で「ご意見募集」のチラシを配布。(13年9月)

これが、私たちの推進する重点政策です。



行政改革 「税金のムダ一掃」

ムダ一掃 市民の感覚でムダを指摘

- 外郭団体の遊休資産(約6億円)活用、天下り制度の廃止。
- 公有財産の有効利用・活用。



本年9月議会で外郭団 放置自転車の撤去場。660坪の大 体の問題を質す。(酒井) 半は埋まっておらず、活用が必要。

情報公開 「見える化」から「変わる化」へ

市民に情報を示し、ご意見を頂き、改善につなげる、というサイクルを作ります。

- 行政コストの公表、有識者・市民による公開検証。
- 住民投票の条例化。市民の意思を直接問う。
- 行政・議会関係者等による、市役所・外郭団体等への「口利き(コネ採用や業者の紹介など)」禁止の条例化。

私たちの視点 市役所の高コスト体質を改善。

【例えば…】

放置自転車の撤去コスト (1台あたり) 図書館の貸出コスト (1冊あたり)



京都市 1,000円 全国平均 305円
戸田市 20,000円 戸田市 584円

市全体で500億円近い借金と、全国10位の急激な高齢化。今後は「働く世代の減少による税収減」と「福祉需要の拡大による出費増」から財政悪化が予想されます。今こそ、思い切った改革が必要です。

議員制度 まずはわが身を正すことから

- 海外・県外視察の見直し。
- 議員定数や報酬額に、市民委員会の意見を反映。
- 隠れた報酬(費用弁償や兼職報酬※)の見直し。
- 市長・市議会議員の永年勤続表彰を廃止。

「議員の報酬額を議員自身が決める」のが現在の制度。市民から成る委員会に意見を求め、「働きに見合った報酬額」への第一歩としたい。



※「費用弁償」=議員報酬とは別の出席手当
「兼職報酬」=衛生センター・競艇議会の議員報酬

生活・経済 「私たちの安全を万全に」

私たちの視点 地震・洪水対策を徹底。犯罪・交通事故防止を強化。

怖いのは大地震だけではありません。4mの浸水が予想される荒川洪水、県内ワースト10常連の犯罪件数、県内最多の自転車事故など、戸田市特有のリスクにとり組みます。

荒川はらん時の水位

- 4~5m 戸田公園駅、戸田中学校など
- 3~4m 東部福祉センター、新曽福祉センターなど
- 2~3m 市役所、西部福祉センターなど



荒川が氾濫するとほぼ市内全域が水没。洪水も脅威です。

安心・安全 もしもの時も日常も

- 行政と市民が一体となった防災体制を構築。
- マンション住民など町会未加入世帯の対策を強化。



◀ 緑川(戸田市喜沢)の水害対策の状況を視察(中山)

- 自転車通行帯の整備や、注意標識の設置で道路を安全に。
- 交通ルールの周知や安全教育、取り締まりの強化。

経済 まちに富と活気を生み出します

- 小規模製造業など、成長分野の企業群を戦略的に誘致。
- 起業支援や市事業の委託で、新規開業者やNPOを育成。
- 駅前などの公共スペースを開放し、集いの場づくりを工夫。平日も週末も、市内で遊べる・学べる・働けるまちに。

子育て・教育 「子どもの笑顔を増やします」

私たちの視点 子育て世代の声を生かす。

学校内で子どもが犠牲となる事件が市内でも起きています。わいせつ、いじめ、体罰から子どもを守ります。他にも、保育や学童保育の質の問題、科目や学区による学力のばらつきなど。戸田市の子育て政策に、利用者目線の改善を加えます。

【例えば…】

	小学校数	児童館数
蕨市	7校	5館
戸田市	12校	2館

市内に児童館は2館のみ。子どもの居場所づくりが課題です。学校や公共施設を活用し、近所で遊べるまちをつくります。

子どもの安全 予防策と事後対応の徹底を

- 教職員等によるわいせつ・体罰の防止策。不祥事公表、研修実施、ガイドライン策定、被害児童の心のケアなど。
- いじめの未然防止、第三者委員会による事後対応の徹底。
- 「ゾーン30(自動車の時速30km制限区域)」の拡大。

医療・福祉 「安心できる制度を作る」

私たちの視点 健康で、長生きできるまち。

戸田市の健康寿命(※)順位(県内)

	県内63市町村のうち	県内63市町村のうち
男性	63位 県内最下位	女性 62位 県内ワースト2位
特に男性は5年連続最下位		

戸田市の健康寿命は県内最下位。疾病予防への取り組みを強化し、健康増進と医療費削減の2つの効果を狙います。

※「健康寿命」=介護を必要としない生活ができる年数

地域医療 適切な医療を受けられる体制に

- 健診メニューを見直し、簡便で費用負担を少なく。
- かかりつけ医、病院、保健センターの連携を強化。
- シニアスポーツなどの活動を活性化、いつまでも元気に。

子育て 生きやすく、育てやすいまちに

- 子どもと一緒に楽しめる遊び場の確保。
- 待機児童(保育園・学童)の受入れ拡大と質の確保。
- 産婦人科、小児科医療や周産期ケアの充実。



◀ 親子が集う先進的な公園を視察(真木)

教育 学力アップを実現する

まずは基礎学力の定着を。さらに、知識の活用や対話力など、今後の社会で求められる力を養います。

- 放課後学習のプログラムを充実。
- IT教育、キャリア教育、協調学習(※)などの導入拡大。
- 市内の各学区における学力格差の是正。
- 小中一貫化による公教育の質向上。

※「協調学習」=生徒同士が教え合っって答えを導く教育方法。東大と提携し、市内の一部学校で導入中

介護 いつまでも住み慣れた家や地域で

家族介護者のうつや孤立を目にします。サービス改善による休息機会の提供など、介護負担の軽減を目指します。

- 相談業務を充実し、家族介護者を支援につなぐ。
- 24時間巡回訪問サービスの導入。
- 自宅で生活が続けられる「地域包括ケアシステム」の構築。



◀ 市内の特別養護老人ホームにて入浴介護を体験中(金野)

自立支援 誰もが誇りある生活を

- 失業者の就労に向けた、親身な伴走型支援。
- 生活保護家庭の生徒を対象とした学習教室を実施し、「教育の経済格差」、「貧困の連鎖」を防止。
- 障がい者雇用、特別支援学級の充実。
- 障がい者の家族を支援し、負担を軽減。

市民が最優先。

酒井郁郎 (さかいいくろう)
無所属、38歳 / 2期目
東京大学卒業
同大学院修了



教育が人をつくる。

真木大輔 (まきだいすけ)
無所属、31歳 / 1期目
東京大学卒業
同大学院中退



人の役に立ちたい!

金野桃子 (こんのももこ)
無所属、30歳 / 1期目
慶應義塾大学卒業
同大学院修了



ひたむきに働きます!

中山祐介 (なかやまゆうすけ)
みんなの党、27歳 / 1期目
法政大学卒業
首都大学東京大学院修了



戸田の会について

「戸田の会」という会派名には、戸田のために働くという意味が込められています。戸田の会は、旧来の対立構造にとらわれず、これからの戸田のために何をすべきかを第一に考えて行動し、その取り組みがやがて日本の将来につながるよう、力をあわせて頑張っています。

【会派理念】

一、必要な政策を実現するために

- 時代の流れを読み、未来を見据えた政策を立案します。
- 政策の妥当性について、費用対効果、先行事例、市民の支持などの観点から十分に検討します。
- 政策実現のために、議会内外での提言や交渉など可能な限りの手段を尽くします。

一、皆さんの声を市政に反映するために

- 市政について広くお伝えし、市民の皆さんへの情報提供に努めます。
- 市民の皆さんからのご意見を広くお聞きし、市政への問題意識の共有に努めます。
- いただいたご意見を政策に集約し、目に見える改善に努めます。

一、公平な市政を実現するために

- 特定の人物や団体への利益誘導ではなく、市民全体の利益のために行動します。
- 既得権益を打破し、行政の効率化と民間の活性化を促します。

ご意見なんでも募集中!

戸田の会では、いただいたご意見すべてを
会派会議でとりあっています。



戸田の会ホームページ

会派によるご意見対応システムを構築。ホームページ等から頂いたご意見に、会派メンバーが分担して対応。進捗状況を随時公開する、日本初の取り組みを行っています。ぜひご覧ください。

<http://todanokai.com/>



戸田市政について、戸田の会の活動についてなど、皆さんのご意見をお寄せ下さい。対応状況は会派ホームページで確認頂けます。

ご意見送付先

- ①ホームページのフォームから: <http://todanokai.com/>
- ②メール: info@todanokai.com
- ※①、②の方法で連絡できない方
電話/FAX: 048(234)8435 (真木)
郵便: 戸田市喜沢2-19-10-202 (中山)